

平成23年度 狭山市立南小学校 学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方針について評価する。

※ 【評価の目安】

- A : よくできている。
- B : 概ねできている。
- C : あまりできていない。
- D : できていない。

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	B	・学校教育目標の育成状況は、「概ねよい」。	<ul style="list-style-type: none"> ・真に現場で教育指導に当たられる先生方の評価を大いに参考にさせていただいた。 ・「新生南小」が発足して1年、新しい校長先生はじめ、転任の先生方など多くの諸先生方の日々のご努力に感謝いたします。 ・運動会などの行事で若い先生方が裏方の仕事に尽力しており、職員間の協力体制ができていますと感ずる。 ・英語関係の掲示物がよくできていると感ずる。 ・校舎内の環境美化には、よく取り組んでおられると思う。
	2	児童は、学校生活が楽しいと感じている。	A	・学校経営方針の「3つのわ(和輪・話)」の教育の実践を通して、教職員は、協力して教育活動に励んでいる。(90%達成)	
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	・「南小3つの取組み」(あいさつ・清掃・思いやり)の実践の中で、清掃指導が課題である。(A 4%, B 92%, C 4%)	
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	B	・施設設備の安全点検(日常・定期)と迅速な修繕対応、見届けにより安全管理の徹底を図っている。	
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A		
学習	6	教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	・個に応じた指導を通して、学ぶ楽しさが実感できる学習活動の充実に努めてきた(A 14%, B 72%, C 14%)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職との話し合いから、児童を中心にそえた授業に向け、努力されている様子が伺える。 ・「教育に関する3つの達成目標」の確認テストのみならず、テスト類は、最後には、すべて子どもたち個人にもどるものなので、教師は1人一人に対する指導を心がける意識が常に大切だと思う。 ・授業中にも子どもたちが考える時間をとっており、正しい答えを導びかれていたので、子どもたちが萎縮せず意見を発表できていた。 ・多くの子どもたちの学習に集中している様子が見られた。 ・授業参観の時、学級によって空気の違いを大きく感じる事があった。
	7	児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	B	・基礎基本の習得を目指し、「わかった、できた、伸びた」が実感できる授業の推進に努めている。(A 22%, B 73%, CD 0%)	
	8	児童は、基礎的基本的な学力を身につけている。	A	・英語活動は、児童が楽しく活動できるように努めている。(A 27%, B 73%, CD 0%)	
	9	児童は、家庭学習の習慣を身につけている。	B		
	10	児童は、英語活動をとおして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	B		
規律ある態度	11	児童は、進んであいさつをしている。	B	・「南小3つの取組み」(あいさつ)達成状況(A 0%, B 70%, C 30%)今後も重点課題として組織的・継続的指導の必要性がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師1人1人が個々の児童と接し、不足している「規律ある態度」の育成に大きな時間を費やされるのに、胸を痛めている。 ・授業時間中、校内が大変静かでした。
	12	児童は、場に応じた言葉遣いができている。	B	・学習規律(時間・学習態度・聞く姿勢等)の達成状況(A 18%, B 64%, C 18%)概ね達成できている。今後も継続指導に努めていく。	
	13	児童は、時間を守って生活している。	A		
	14	児童は、きまりを守って生活している。	A		
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	B		
健康・体力	16	学校は、児童の体力を高めている。	A	・体力向上の取組み(A9%, B91%)と朝マラソンの取組み指導に努めてきて、成果が出てきた。(A45% B46% C9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝マラソンはよく取り組んでいると思う。今後は、更に苦手な子も楽しみながら体力の向上が図れる取り組みを期待する。 ・長期休みの生活点検表は、良い取り組みだと思う。 ・保護者にもっと身体と健康に関する正しい知識の指導が必要だと思う。
	17	児童は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	B		
	18	児童は、健康を意識した生活をしている。	B		
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	B	・参観、公開、便り等で教育活動の発信と啓発に努めてきた。(A30% B60% C10%)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と保護者が相互理解を深め、信頼関係を築いて一体となって子どもたちのためのよりよい学校を作っていく事が必要かなと思う。 ・子どもを健全に成長させるために必要な作用の中に、学校教育はじめ、地域・家庭での働きかけがあると考えるが、とまずれば、各々の機関なり、場が有機的につながっていないため、効果が半減してしまう(十分に得られない)ことがあるように思う。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A	・保護者との連携を密にし協力体制作りに努めている。(A30% B70% C0%)	

狭山市教育委員会
教育長 松本 晴夫 様

狭山市立南小学校
校長 市川 進 印

平成23年度 狭山市立南小学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1) 新学習指導要領の実践・研究・定着	(2) 基礎基本の確実な定着の重視	(3) 学校課題研究の推進
(4) 特別支援教育・交流教育の重視	(4) 英語活動の充実	(5) 人権教育の推進
(6) 豊かな心の育成		

2 本年度の経営方針

①3つの「わ」の教育の実践(和・輪・話)	②自己目標達成に向けた実践・評価による資質能力の向上
③学ぶ楽しさ, 成長した喜びが実感できる学習指導の充実	④教育課題を明確にした校内研修の充実
⑤保護者, 学校応援団と連携した安全で清潔な学校づくりと地域資源を積極的に活用した教育活動の推進	
⑥保護者, 地域に開かれた学校づくり	

3 自己評価・学校関係者評価結果

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 学校教育 教育目標	1	共通理解が図られ, 実現の努力がなされたか。	A	教育目標の具現化のための方策を, 授業, 行事の取り組みを学年・学級で意図的・計画的・継続的に創意工夫していく。
	2	保護者への浸透が図られたか。	B	
	3	経営方針について共通理解が図られ実現の努力が図られた	B	
2 校務 分掌	4	分掌の内容や責任が明確であったか。	A	校務分掌の活性化を図るため, 校長・教頭による自己評価シート面談や教室訪問を通して, 見届け指導を繰り返していく。
	5	分掌が活発に機能し各分掌の連携が図られたか。	B	
	6	各分掌の組織が合理的に編成されているか。	B	
3 教育 計画	7	学校教育目標や経営方針を具体化するために編制されてい	A	統合による新生南小学校2年目に向けて, 全職員の創意工夫を生かした教育計画作りに努めていく。
	8	年間授業日数が適切に配当されていたか。	A	
	9	授業日数の確保の努力が十分なされたか。	B	
	10	開かれた学校づくりに努力がなされたか。	A	
4 学年 学級 経営	11	教員が教育計画実施の担い手であるという自覚を持てたか。	B	学年会・学年研修の充実による方針の一貫性は成果である。今後も, 進度の調整のみならず, 児童や授業のことを話題にする学年会を通して, 学年学級経営の充実に努める。
	12	時間割により十分な成果を得ることができたか	B	
	13	学校・学年・学級経営の方針に一貫性があったか。	A	
	14	計画的, 意図的に学年, 学級経営が進められたか。	A	
	15	生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	B	
	16	教室環境の整備に努力がなされたか。	B	
	17	朝の会, 給食, 清掃, 帰りの会などに工夫改善が加えられた	B	
5 学習 指導	18	朝の読書への取り組みがしっかりなされたか。	A	「教師は授業で勝負」という積極的な生徒指導を推進し, 分かる授業など学習意欲の喚起により, 進んで学ぶ児童の育成に努める。
	19	生徒が進んで学ぶ授業の改善がなされたか	B	
	20	基礎的・基本的内容を身につけさせるような工夫改善がなされたか。	A	
	21	生徒の長所を伸ばす評価の工夫がなされたか。	B	
	22	視聴覚・情報機器の積極的, 効果的な利用がなされたか。	B	
6 選択 教科	23	教員数, 施設, 設備などの実情に応じたコースの設定がなされたか。		
	24	生徒の個性を生かした学習内容, 学習方法の工夫がなされたか。		
7 道徳 教育	25	全体計画を理解し, 全教育活動をとおして道徳教育の実勢がなされた。	B	道徳授業を核として, 年間指導計画に関連づけた各教科など全教育活動で推進する。
	26	道徳の時間が生徒の実態把握に基づき, 計画的に実践され	B	
8 特別 活動	27	全体計画を理解し, 生徒の自己決定の場が多く設定された	A	課題研究で開発した学級活動の充実と全体計画と学年別の指導計画に基づく教育活動の見届けを徹底する。
	28	全体計画が, 生徒の実態把握に基づき, 計画的に実施された	A	
	29	生徒会活動などの特性が理解され, 生徒の自己実現がなされ	B	
	30	奉仕活動の活発化がはかれたか。	B	

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
9 学校 行事	31	学校行事が計画的に実施されたか。	A	学校行事の保護者の評価は高かった。今後も、教育目標の具現化の場として意図的・計画的に工夫・分担していく。
	32	学校行事の特性を生かし、生徒の自己実現が図られたか。	B	
	33	職員の仕事分担が適切であり、お互い協力がなされたか。	B	
10 生徒 指導	34	全体計画に基づき、計画的な指導がなされたか。	A	毎月1回、全職員で生徒指導会議(ロング・ショート)を実施し、配慮を要する児童の情報共有と対策を検討している。今後は日々の授業や生活の観察から、問題の早期発見・迅速な対応に努め不適応児童の予防と対策の充実を図る。また、無言清掃の取り組みをを学校全体に広め、清掃活動の充実に努める。
	35	職員に共通理解があったか。	A	
	36	カウンセリングマインドに心がけて指導がなされたか。	B	
	37	教育相談活動が計画的に実施されたか。	A	
	38	基本的な生活習慣が定着するよう指導がなされたか。	B	
	39	生徒が意欲的に清掃活動を行うよう指導がなされたか。	B	
	40	いじめや不登校の指導が積極的になされたか。	A	
41	不登校生徒が出ないよう努力がなされたか。	B		
42	家庭、地域、諸機関との連携が密に行われたか。	A		
11 進路 指導	43	全体計画に基づき、計画的な指導が行われたか。	B	キャリア教育の視点を重視した教育活動を年間計画に位置づけ、意図的・計画的・継続的に推進する。
	44	生徒が自己の生き方について考えることのできる授業や指導がなされたか。	A	
	45	家庭との連携が行われたか。	B	
12 保健 ・ 安全 指導	46	保健観察が丁寧に行われた。	A	児童の危険予測能力の育成と安全点検による潜在的危険箇所の除去に努めていく。また、今後も朝マラソンや業間体育等を工夫し児童の健康と体力向上に努めていく。
	47	生徒の危険な行動【予測されるものを含めて】に対して適切な指導がなされた	B	
	48	健康や体力向上に進んで取り組む指導がなされているか。	A	
	49	治療が必要な生徒に適切に治療勧告がなされたか。	A	
	50	事故に対する対応が適切になされたか。	A	
	51	性に関する指導が共通理解のもとに行われたか。	B	
52	給食指導が適切になされたか。	B		
13 職員 会議	53	開始時刻が守られたか。	B	年間の見通しを持った会議のスリム化を図る。また、議題の整理と会議の開始時刻など会議に望む姿勢を啓発し、質の高い会議運営に努めていく。
	54	問題意識を持って臨めたか。	B	
	55	議案の内容や提案のし方が適切であった。	A	
	56	建設的な意見が述べられ、よりよい会議の進行に協力的であったか。	B	
	57	会議の内容がよく理解され、決定されたことが責任持って実行できた	A	
	58	自己評価シートの内容が適切に進められたか。	A	
14 教職 員の 服務	59	教育公務員としての自覚を持ち公務員倫理のもとサービスの厳正に努め	A	今後も、毎月、会議等を活用して教育公務員としての自覚と倫理感を持ってサービスの厳正に努めるよう指示や研修を継続していく。
	60	ゆとりを持った出勤がなされたか。	A	
	61	服装、言葉遣い、挨拶等は適切であったか。	B	
	62	出張や研修の報告が速やかに行われたか。	B	
	63	組織の一員としての自覚に基づき一人一人の責任が果たせた	A	
	64	健康維持増進のための努力がなされたか。	B	
15 校内 研修	65	研究主題が生徒・地域の実態や課題を踏まえた適切なものであった	A	今年度の研修成果と課題をふまえ、新年度も、国語科を中心にした思考・表現力育成の課題研究と一般研修の充実に努めていく。
	66	研究組織やすすめ方は研究内容に応じて合理的・機能的で	B	
	67	教職員が意欲的に取り組んでいたか。	A	
	68	研究の結果、生徒の変容が見られ、生徒のためになったか。	B	
	69	研究内容が日々の指導の中に生かされ、教員にもしっかり身についた	A	
	70	研究の成果を次年度に生かす見通しができたか。	A	
16 施設 設備	71	施設設備が丁寧に正しく利用できたか。	B	施設設備の正しい利用の仕方・後始末等の見届け教育の充実と安全面の強化に努めていく。そして、環境整備への児童の積極的な関わりと活動を充実していく。
	72	備品の所在数量使用方法などが明確に把握され、有効に利用された	B	
	73	使用後は施錠等が確実になされしっかり後始末ができたか。	A	
	74	掲示施設が有効に活用され、掲示教育が積極的になされた	B	
	75	環境整備に生徒も積極的に参加し、積極的な活動がなされた	B	
17 学校 事務	76	出勤簿は毎朝、押印された。	B	出勤簿の押印等、ほぼ全員できているが、個に応じた指導で文書提出等、事務の適切処理に努めていく。
	77	旅行命令簿はその都度、適切に記入された。	A	
	78	出席簿は毎日記入され、月ごとの集計は滞りなく行われた。	A	
	79	文書は事前に校長に提出し、点検を受け、期限までに発送されたか。	B	
	80	現金の取り扱いには細心の注意が払われ、会計事務は適切に処理され	A	
18 PTA 家庭 地域	81	家庭訪問・保護者会等は適切に計画され遂行されたか。	A	保護者地域へ学校の教育活動を積極的に発信する。また、学校公開やアンケート等を通して、家庭・地域からの意見や要望等を吸い上げる。
	82	学年・学級便り等の発行は適切になされ、保護者への情報提供は適切であつ	A	
	83	地域や家庭を積極的に理解するよう努力されたか。	B	
	84	積極的にPTAや地域の活動へ積極的に参加したか。	A	
19 部活動	85	部活動の指導は計画的に適切に行われたか。		
20 総 合	86	内容は生徒の興味をそそるものであったか。	B	限られた総合の時間の活動を充実させるため、教材と授業を工夫させ、質的向上を図る。
	87	計画に沿って実施できたか。	A	
	88	図書室・コンピュータ室等の利用は計画的に適切に行われた	B	